

平成 24 年度（2012 年度）事業報告

1. 全体評価まとめ

- (1) 「もったいない運動えどがわ」の登録数は、今年度は 5,330 件で、延べ 8 万 9 千人を超えた。各地域まつりなどで担当委員会やもりあげ隊の活躍により多くの区民に PR ができた。
- (2) グリーンプラン推進校の参加校は、今年度は 9 校(園)で、累計 53 校(園)となり、着実に参加の輪が広がっている。
- (3) 新規事業「省エネ・節電チャレンジ」は参加 286 世帯のうち 145 世帯が 5%以上削減の目標を達成。「みどりのカーテン」普及事業も 404 件の登録があり、どちらも関心が高く、今後の継続が期待される。
- (4) 身近なものを利用した「ものづくり講座」の事業数・参加者数が増え、ものを大切に暮らすを楽しみながら「もったいない運動」を一般にすすめる環境が広がってきている。
- (5) 区受託事業である「水辺環境調査」では、改めて報告書の内容を整備し、見やすく分かりやすいものに刷新できた。

2. 次年度へ引き継ぐ重点課題

- (1) 省エネ・節電チャレンジ事業と連動した、省エネナビ貸出事業の実施
- (2) 「みどりのカーテン」普及事業の登録者数の拡大
- (3) 環境月間（6 月）と 3R 月間（10 月）にあわせた、マイバッグ・キャンペーンの実施
- (4) 友好都市・鶴岡市の豊かな自然環境を利用した、宿泊型自然学校の実施

3. 事業評価

活動項目		平成 23 年度	平成 24 年度	比較
事業	事業実績件数	225 件	196 件	▽29 件
	参加者数	16,367 人	16,024 人	▽343 人
会員等	会員数	339 件	270 件	▽69 件
	ボランティア参加者数	190 人	190 人	0 人
	もったいない運動登録者数	84,174 人	89,504 人	5,330 人
財務	区補助金実績	48,415 千円	50,746 千円	2,331 千円
	民間等助成金実績	2,705 千円	2,121 千円	▽584 千円

4. 科目別事業評価

活動項目	事業数	参加者数
(1) 環境教育・環境学習の推進事業	15 件	202 人
(2) 人材育成事業	26 件	537 人
(3) 区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業	119 件	14,050 人
(4) 情報の提供及び支援事業	2 件	384 人
(5) 自然環境の保全と活用	34 件	851 人
(6) 理事会運営の確立	—	—
計	196 件	16,024 人

(1) 環境教育・環境学習の事業推進

○成果

- ①グリーンプラン推進校が累計で53校(園)となった。
- ②グリーンプラン推進校である、瑞江小学校・環境委員会の児童を対象に、生ごみ堆肥づくりの出前授業を行った。今後、学校現場での循環型社会づくり委員会の実践活動の広がりが期待される。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①江戸川区・すくすくスクール係と連携し、子ども放課後環境学習支援を充実させる。
- ②「学校版もったいない運動」との連携。

(1-1) 学校等環境学習支援

項目	計画	実績
環境学習支援（グリーンプラン推進校・学校版もったいない運動）	9校(園)	9校(園)
出前授業等の実施	550人	2回/101人
子ども放課後環境学習支援（すくすくスクール）	3回/180人	1回/51人 (※おきがる環境講座で2回/204人)

(2)人材育成

○成果

- ①おきがる環境講座では 400 名の参加があり、子どもを通して親子で学べる講座も実施できた。
- ②生ごみリサイクル講習会では 137 名の参加があり、初回からの累計は 1,241 名となった。
- ③人材育成事業の実施を通して、事業の担い手（講師、ファシリテーター、サポーター）の実践力が身についた。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①環境学習プログラムの整備
- ②町会・自治会、PTA 等多様な参加者の確保のために、それぞれの興味関心に合わせ、豊富なプログラムを提供する。

(2-1)環境学習リーダー養成講座

項 目	計 画	実 績
おきがる環境講座開催	350 人	14 回/400 人

(2-2)生ごみリサイクル講習会

項 目	計 画	実 績
生ごみリサイクル講習会開催	120 人	12 回/137 人

(3)区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業

○成果

- ①「みどりのカーテン」モニター年間登録件数がこれまでで最高の 404 件となった。
- ②「省エネ・節電チャレンジ」事業では、参加した 286 世帯のうち約半数の 145 世帯が 5% 以上削減目標を達成した。
- ③身近なものを利用したものづくり講座が増え「もったいない運動」を一般にすすめる環境が広がってきている。
- ④エコカンパニーえどがわ登録事業所数も毎年増加している。
- ⑤江戸川総合人生大学卒業生が地域のリーダーとしてえどがわエコセンターを活動の場とする輪が広がってきている。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①「省エネ・節電チャレンジ」事業は、参加者拡大のため、楽しく無理なくできる事業として推進する。
- ②ものづくりの講座では「もったいない運動」について参加者同士が意見交換できるような場にしていく。
- ③エコカンパニーえどがわ登録事業所に会員入会を働きかける。

- ④環境月間（6月）と3R月間（10月）に合わせて、マイバッグ・キャンペーンを展開する。
- ⑤えどがわエコセンターを江戸川総合人生大学卒業生の地域活動のフィールドとなるよう積極的に働きかける。

(3-1)もったいない運動えどがわの推進

項 目	計 画	実 績
もったいない運動登録者の拡大	86,660人	89,504人
第6回もったいない運動えどがわ区民大会の開催	3,000人	4,000人
地域活動支援	500人	6回/102人
地域イベントへの参加	6,050人	16回/5,892人
江戸川区小中学生マイバッグコンクール作品展示	5,200人	—

(3-2)省エネ・新エネルギーの推進

項 目	計 画	実 績
省エネ・節電チャレンジ	—	286世帯
環境に配慮したエコライフ講座、講習会等の開催	500人	16回/388人
「みどりのカーテン」の普及啓発	350件	404件

(3-3) 3Rの推進

項 目	計 画	実 績
3Rに関する講座、講習会等の開催	600人	58回/1,032人

(3-4)事業者の取組み推進・支援

項 目	計 画	実 績
エコカンパニーえどがわ登録事業者の拡大	40件	21件
エコカンパニーえどがわ普及啓発講座	300人	196人
ECE登録事業者への省エネルギー相談	実施	実施

(3-5)商店（街・会）やスーパーのエコ活動支援

項 目	計 画	実 績
商店街主催イベントへの支援	9回	3回（松江大通り、瑞江駅前3商店会、平井親和会）
商店街のエコチャレンジ宣言	実施	—

(3-6)その他イベント等への参加

項 目	計 画	実 績
ボランティア・フェスティバル	100 人	100 人
一之江境川親水公園・自然観察会	130 人	130 人
産業ときめきフェア	300 人	400 人
江戸川区水辺の活動交流会	200 人	200 人

(4)情報の提供及び支援事業

○成果

- ①会員(団体・委員会)の活動拠点として機能させるため、多目的ルームの改修工事を行った。
- ②構成やデザインを再編成し、見やすく利用しやすいホームページに刷新した。
- ③企画提案事業のマニュアルを周知徹底するため、説明会を実施した。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①会員(団体)等の多目的ルームの利用、書籍・展示コーナーの活用を推進する。
- ②ブログやフェイスブックを活用して、リアルタイムな情報発信に努める。
- ③企画提案事業のマニュアル徹底のため、会員との連絡を密にしてよりスムーズな事業の運営を目指す。

(4-1)情報の発信と提供

項 目	計 画	実 績
「エコちゃんねる」の発行	4 回 20,000 部	28 号 3,000 部 29 号 6,000 部 30 号 4,000 部
ホームページの構成・デザイン刷新	—	実施
リーフレット等の改訂・印刷	実施	実施
多目的ルームでの講座講習等の開催	実施	31 回/570 人

(4-2)他団体との連携・活動支援

項 目	計 画	実 績
江戸川総合人生大学への講師派遣	実施	実施
自然体験活動推進協議会、葛西臨海たんけん隊、環境教育フォーラムとの連携	実施	実施

(4-3)相談業務

項 目	計 画	実 績
会員等からの団体運営や事業等の相談	実施	実施

(4-4)会員の拡大

項 目	計 画	実 績
あらゆる機会をとらえてのPR	実施	実施 新規 19 件（正 10/賛助 9）

(5)自然環境の保全と活用

○成果

- ①水辺環境調査報告書の作成にあたり、調査の対象・地点・時期ごとに整理し、写真を多用して内容を充実させた。
- ②一般向けの自然観察会や、子ども向けの自然遊び、自然体験活動の機会が増えた。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①水辺環境調査の日程に、冬季、葛西海浜公園・東なぎさの鳥類調査を追加する。
- ②鶴岡市での宿泊型自然学校の募集について、一般区民のほか、PTA や子ども会など幅広く呼びかけを行っていく。

(5-1)水辺環境調査

項 目	計 画	実 績
新中川、江戸川・旧江戸川、荒川、葛西沖の水辺環境調査（受託事業）	40 人	8 回/46 人

(5-2)自然復元・再生事業

項 目	計 画	実 績
河川や海岸のクリーン作戦を通じた自然環境の復元を進める	160 人	2 回/154 人
絶滅種や生物多様性に関する啓発を進める（ムジナモ・ビオトープ）	160 人	7 回/146 人

(5-3)えどがわ自然学校

項 目	計 画	実 績
えどがわ自然学校や自然観察会等を通じ、自然に触れる	450 人	17 回/505 人
自然活用マニュアル、啓発冊子、安全にかかわる情報提供	実施	—